

# 委員会レポート（常任委員会 所管事務調査・道内先進地視察調査）

## 総務文教常任委員会

### 【所管事務調査】

・令和元年10月3日

①学校施設長寿命化計画について  
計画の概要および策定状況について説明を受けました。

委員からは、国庫補助以外の財源、対象学校数、学校の大半が指定避難所で、防災担当部局との連携について意見が出されました。

②社会教育に関する事項について  
蝦夷文化考古館、ふるさと館について説明を受け、現地調査を行いました。

委員からは、両施設とも所蔵点数が非常に多く、展示施設と収蔵施設を別に設ける必要があるのではないかと意見が出されました。

・令和元年11月6日

①会計年度任用職員制度について  
概要について説明を受けました。

委員からは、制度変更で現行賃金を下回ることはないか、特別職非常勤職員の任用厳格化で影響を受ける職種、財政負担が増えることに対する国の支援について意見が出されました。

### ②債権管理について

債権管理の取組状況および今後の方針について説明を受けました。

委員からは、統一的な事務処理基準による債権管理方針についての質問や、滞納整理機構との関係について意見が出されました。

### 【付託された議案（陳情）の審査】

・令和元年12月13日

陳情審査（審議結果…4P掲載）のため、陳情者である「オスプレイを考える会」長坂政幸代表、「住みやすいまちづくりを考える会」高橋勉会長を「参考人」として招致し、陳情の経緯、趣旨などについて説明をいただきました。

委員からは、オスプレイが帯広駐屯地を使用する可能性が低くなつたこと、今後の行政区制度のあり方の検討には、時間を要することなどの意見がありました。



オスプレイを考える会の説明  
長坂代表・藤岡氏（左から）

### 道内先進地視察調査

・令和元年10月29日～30日

#### 《岩見沢市》

小中学校の適正配置に関する基本計画について視察しました。岩見沢市では、学校施設長寿命化計画と小中学校の適正配置について、地域との関わりや地域性、保護者や地域住民と話し合いのものと検討され、両者は切り離すことができない課題であり、今後の本町の取組の参考となるものでした。

#### 《株式会社HARP（札幌市）》

自治体における共同利用型RPA実証実験などについて視察しました。

北海道と8自治体が協力し、典型的な4業務について、業務効率化の可能性の検証を行い、導入後の想定効果は、削減率15～97%となるなど、効率化が可能となるものでした。事務作業へのICT技術の活用には、業務の標準化・共通化などの課題がありますが、将来的には、人口減少や労働力不足などの問題から、自治体行政においても必要に迫られる転換期が来ると考えられます。

#### 《北海道博物館（札幌市）》

アイヌ文化の展示について視察しました。

資料が豊富に展示され、家族の物語形式で展示をする工夫がされていきました。収蔵庫は三層構造で、湿度、温度や厳格な入室管理が行われていました。

老朽化が著しい本町の蝦夷文化考古館については、展示や建物自体に価値があること、国道に接する好条件にあるとの指摘をいただき、今後の施設整備やあり方について、国立アイヌ民族博物館や北海道博物館など、専門職員からの意見をいただいて、早急に対応していく必要があると感じました。



北海道博物館 視察（札幌市）

# 委員会レポート（常任委員会 所管事務調査・道内先進地視察調査）

## 民生常任委員会

### 【所管事務調査】

・令和元年11月15日

#### ①認定こども園について

幕別中央保育所、わかば幼稚園の現地調査を行い、施設概要、入所状況について説明を受けました。

委員からは、今後の幕別中央保育所の入所児童数の推移、本町における幼稚園ニーズの状況、入園見込みなどの質問のほか、幕別中央保育所の維持補修状況について意見が出されました。

### 道内先進地視察調査

・令和元年10月10日～11日

#### 《足寄町》

防災行政無線について視察しました。（詳細…24P掲載）

#### 《弟子屈町》

公私連携幼保連携型認定こども園として開園した「認定こども園ましゅう」を視察しました。

保護者の就労状況に関わらず子どもの受け入れが可能となり、公と民がその役割を明確にして一元化したメリットは多く、地域からの期待も大きいと感じました。

### 《釧路市》

「釧路市男女平等参画推進条例」

の制定に至った経緯とその効果、現状と課題について視察しました。

市民とともに取り組む手法は、参考となるものでした。

### 《白糠町》

「太陽の手子育て支援事業」、幼保連携型認定こども園「庶路こども園」について視察しました。

こども園が1階、義務教育学校「庶路学園」が2～3階で、同一施設に合築整備され、学校教育と連携した質の高い保育を提供する取組は、本町の「認定こども園整備事業」に参考となるものでした。



庶路こども園（白糠町）

## 産業建設常任委員会

### 【所管事務調査】

・令和元年10月23日

#### ①下水道事業について

幕別、札内の市街地下水道統合について説明を受け、幕別町浄化センター、十勝川流域下水道浄化センター（帯広市）の現地調査と視察を行いました。

委員からは、下水道統合に要する経費について、国庫補助金の活用など財源の確保について意見が出されました。

### 道内先進地視察調査

・令和元年11月13日～14日

#### 《石狩市農業協同組合》

収穫作業時の補助労働力確保を目的とした「グリーンサポーター事業」について視察しました。

事業開始から20年余りの実績があり、民間事業者による人材派遣よりも前に始まった先進的なものでした。一方、雇用期間、賃金格差などの労働条件において、他業種との格差改善に向けた取組も協議中であり、生産者団体として強い姿勢を感じました。

### 《北広島市》

ボールパーク構想と連携した地域再生事業（地域活性化・観光）の取組について視察しました。

官民一体となって進めていく取組は、スポーツを通じたまちづくりを進める本町においても参考になる取組でした。



北広島市役所

### 《千歳市》

下水道事業の統合について視察しました。

老朽化施設の更新では、統合による一括処理方式が将来的に大きな経済効果があると説明を受けました。また、耐震管の採用など防災対策の必要性を感じました。